

教科	科目	単位数	学年	集団
探究	究タイム（総合的な探究の時間）	2	1	ビジネス探究科

使用教科書	副教材等
	一生使える探究のコツ（トモノカイ）

科目の目標
探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、より良く課題を発見し解決していくため の資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 （１）探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究も意義や価値を理解するようにする。 （２）実社会や実生活と自己との関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 （３）探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

評価の観点とその趣旨	
①知識・技能	（１）話し合いのルール、態度について理解している （２）ブレインストーミングやK J法といった探究スキルやアンケートの技法を身につけている （３）インターネットや書籍の利用、アンケートやインタビューの実施により自分に必要な情報を収集し、整理・分析することができる
②思考・判断・表現	（１）物事をよく吟味して自分で課題を立てることができる （２）多角的な視点から物事を考えることができる （３）調べたことや自ら考えたことを論理的にまとめ、口頭で伝えることができる
③主体的に学習に取り組む態度	（１）調べ学習や発表、資料の作成に積極的に取り組もうとしている （２）グループワークの際に班員と協力して活動している （３）社会の一員であることを理解し、社会のために何ができるかについて考え、社会をよくするために活動しようとしている
評価方法	
①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度	発表（プレゼンテーション）の内容 ディベートのワークシート及び発言 発表（プレゼンテーション）の内容 ディベートのワークシート及び発言 グループ活動への取り組み状況 授業への取り組み状況

学習計画						
月	単元名	単元	単元や題材などの内容のまとめりと学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	探究スキルの習得	ブレインストーミング・KJ法・ウェビング	探究学習の基礎となるスキルやツール、グループワークの姿勢、傾聴の態度を身につけることができる。	○		○
	ドリームマップ	ドリームマップの作成・発表	自分の夢を社会と結びつけて、将来像を描くことができる。	○	○	○
	アンケート技法の習得	質問項目の作成	アンケート技法を習得する中で、情報を整理・分析して、論理的・複眼的に思考することができる。	○	○	○
5	AIチャレンジ	A I の概要とA I 体験	A I 体験を通じてA I について理解を深めるようになる。	○	○	○
		企画の作成	A I を活用して、困っている誰かを助けるためのアイデアを考える ことができる。	○	○	○
6	発表活動	スライドの作成	自分たちのアイデアをわかりやすくスライドにまとめることができるようになる。	○	○	○
		クラス内発表	グループのメンバーと協働して自分達の企画を簡潔にプレゼンテーションすることができる。	○	○	○

7		前期発表会 振り返り	班員と協力して自分たちが伝えたいことを発表できる。 振り返りにより、客観的に物事を考え、自分やグループの行動を修正して、次の活動に繋げようとしている。		○ ○	○ ○
9	探究トレーニング	ナンバリングとラベリング 質問力向上ワークショップ ドキュメンタリから始める探究	わかりやすい説明や適切な質問をするための技法を身につける。 様々な視点から物事を判断できるようになる。 多様な生き方や価値観、仕事、社会課題について理解できる	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
10	inspire high	I C Tを活用し、世界と教室をつなぐ学習	世界で活躍する大人の体験に触れることで、多様な生き方や価値観、仕事、社会課題について理解できるようになる。	○	○	○
11	ディベート	シナリオディベート フローシートの作成練習 調べ学習 リンクマップの作成	ディベートの流れを理解する。 フローシートの作成手法を身につける。 書籍やインターネットを使い必要な情報を調べ、整理分析して活用できる。	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
12		ワークシートの作成	自分たちの意見の根拠とつながりを意識して立論や反駁を考えることができる。	○	○	○
1		調べ学習 ワークシートの作成 クラス内練習試合	書籍やインターネットを使い必要な情報を調べ、整理分析して活用できる。 自分たちの意見の根拠とつながりを意識して立論や反駁を考えることができる。 練習試合で修正点を見つけ、自分たちの意見を改善できる。	○ ○	○ ○	○ ○
2		ディベート大会 振り返り	班員と協力して活動できる。論理的に考えてジャッジできる。 振り返りにより、客観的に物事を考え、自分やグループの行動を修正して、次の活動に繋げようとしている。	○	○ ○	○ ○
3						